



社会福祉法人 ミッドナイトミッションのぞみ会  
理事長 木下 宣世 様

2023 (令和5) 年5月18日

監事 南 純 

監事 足達裕昭 

## 2022 (令和4) 年度 監事監査報告

監査実施日 2023 (令和5) 年5月10日 (水) 9:30~16:45  
監査実施場所 望みの門本館 (富津市川名1436)  
シオンホール及び会議室  
対象施設 法人本部及び法人内全施設

### 監査事項

#### 1 法人本部関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
- (2) 定款、諸規程の整備状況
- (3) 人事、労務関係
- (4) 理事会関係
- (5) 事業報告書

上記を監事監査点検表の項目に従い確認しました。

#### 2 各施設関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
  - (2) 事業報告書に基づく事業運営、利用者の状況、職員の人事等
- 上記(1)を監事監査点検表の項目に従い確認しました。  
上記(2)を施設長からのヒアリングを中心に確認しました。

## 監査結果

上記監査事項について、2022（令和4）年度の法人、各施設及び事業の運営状況ならびに財産状況を監査した結果、いずれも適正であった。

なお、特筆すべき点や気付いた点については以下に記しますので、今後の運営において留意または修正を要する事項につきましては適切に対応されるよう願います。

### 1 運営全般

社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会はこれまで東京と富津市に拠点をおいて福祉事業全般を展開してきたが、2021年には望みの門本館（シオンホール）が完成されたが、2022年5月には創立60周年という節目の時を迎えて記念式典を執り行い、『創立60周年記念誌』を発行し、「地域と共に歩む一愛と奉仕の灯を掲げて」さらに前進しようとしていることが伺われます。

このような歩みを感謝をもって振り返るとともに、これまでこれらの活動を支え、またその重責を担ってこられた職員各位のご労苦にも改めて深い感謝を覚えます。

さて、今回は2022年度の報告を伺いましたが、各事業部のご努力に深い敬意を表すると共に、さらにその発展を期待して、以下に今後の課題を指摘しておきます。

- (1) 前回は指摘したことですが、創立60周年を迎えた本法人の事業全体を更に維持発展させるためには、ハード面では今後も老朽化している各施設建物の継続的な維持補修・改築などに取り組まざるを得ないでありましょう。なお、今後も予期しない災害等をも念頭において、資金面を含めて長期的段階的な視野に立った対策を講じておく必要があると思われまます。
- (2) ソフト面では、300名を越える職員全体が、法人設立の根本精神であるキリストの愛と奉仕とを学びつつ、それぞれの部署での積極的な活動を通して地域社会への貢献が求められましよう。なお、福祉施設の慢性的な人材不足の中で、職員の補充に努めるとともに、研修や交流を通して更なる資格や資質の向上を図り、少しでも働きやすい職場の構築を目指していただきたいと思ひます。
- (3) 各施設においては、コロナ禍の継続の中で、職員の連携・努力や施設間の協力によって万全の対策が講じられ、利用者の安心と安全が保持されてきたことをまず感謝したいと思ひます。しかし、なお一層の利用率の増加とサービスの向上とを目指しつつ、諸種の訓練や設備の点検を実施して、将来の災害に対策を講じ、また予想される食中毒や集団感染症等の防止にも努めていただきたいと思ひます。
- (9) 千葉県富津市金谷3877、3935-22、の土地及び当地に所在する建物の老朽化が著しいので将来開設予定としているが、再度利用方法を検討して頂きたい。

## 2 経理関係

理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な要決議事項について審議し、議決されて法人運営が正しく行なわれていることを確認しています。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について「監事監査点検表」をもとに補助者足達直人（税理士）と監査を行いました。

- (1) TKCFX4クラウド社会福祉法人用会計システムを活用し、拠点毎の入力により、より効率的な会計処理が図られていることを確認しました。
- (2) 2022（令和4）年度貸借対照表（集計表）、資金収支計算書（集計表）及び事業活動計算書（集計表）はTKCFXクラウド会計システムから切り出し機能を活用して、正確に表示していることを確認しました。
- (3) 原始記録としての各拠点毎の金銭出納帳は「小口現金取扱規則（内規）」に基づき、支払業務の円滑化が図られています。現金有高金種別残高表に、適時に正しく記載されていることを確認しました。領収書等の証憑書類は仕訳伝票の裏面に添付するなど、整理保管されています。
- (4) 各銀行の預金残高証明書および貸付金残高証明書の原票により預金残高および借入金残高を確認しました。拠点毎の「預金等一覧表」および「預金調整表」により残高証明書とも突合いたしました。
- (5) 借入金返済予定表から一年以内に返済する金額および残高を各拠点毎に正しく計上されていることを確認しました。
- (6) 寄付金台帳及び寄付金の授受は受取控えにより確認しました。  
企業から商品の寄贈を受けた場合にはその商品の販売推定価格の70%を評価額として計上していることを確認しました。
- (7) 投資有価証券には君津信用組合および君津市農業協同組合への出資金を確認しました。ちばぎん証券㈱およびみずほ証券㈱の残高明細・取引明細はファイリング保管されていることを確認しました。
- (8) 社会福祉充実残高はマイナス316,290,000円であり、社会福祉充実計画の策定は不要であることを確認しました。
- (9) 会計監査人の設置、収益10億円超又は負債総額20億円超の法人は会計監査人設置が義務化される方向であるので準備をしてください。現在は収益が18億5千万円、負債総額14億1千万円となっています。
- (10) 県の監査による指摘事項の修正がなされていることを確認しました。
- (11) 各施設、稟議書により請求、支払い等の運用が正しくなされていることを確認しました。押印欄の空白には斜線を引くことや、最終決裁者の定義など、実体に即した運用を提案します。
- (12) 仮払金、仮受金の通過勘定に少額ですが残高があります。決算月には精算できることが望ましいです。

### 3 各施設関係

- (1) 東京望みの門は、職員5名にコロナ感染があったにもかかわらず、利用者への感染を食い止め、良くその働きを継続できたことは何よりでした。制度のはざまに陥っている子供たちに安心できる居場所を提供するという姿勢は貴重ですが、退寮生への対応をも抱え、職員への負担が過重にならないよう配慮する必要があります。しかし、保護の対象は次第に変わりながらも、なおミッドナイト・ミッションのぞみ会の精神を良く継承していることは十分評価されて良いと思われます。
- (2) 望みの門学園は、本館への移転が完了し、その装いも新たに本格的な活動が期待されますが、2024年度からは従来の婦人保護施設から女性自立支援施設へと変更されるとのことです。職員も利用者も新たな心構えが求められるでありましよう。なお、引き続き母子の入所をはじめ利用者の増加を計るとともに、利用者の就労支援や生活支援の強化を図っていただきたく思います。また、利用者の聖書研究会や礼拝への参加などを通して創立の精神の継承にも一層力を注いでいただきたいと思 います。
- (3) 養護老人ホーム望みの門楽生園は、新規利用者の開拓によってその稼働率91%強を維持できている点は評価されましよう。しかし、利用者の高齢化が進む中で、職員と利用者の安心と安全にも努めていただきたいと思 います。なお、コロナ禍が去っても、引き続き種々の感染症の防止や災害時の対策にも万全の注意を払っていただきたいと思 います。
- (4) 特別養護老人ホーム望みの門紫苑荘は、利用者及び職員にコロナ感染者が多数出たにもかかわらず、他の施設の職員の協力を得てその難局を乗り越えたことは幸いであつたし、今後の参考ともなるでありましよう。職員不足には技能実習生の受け入れ等によって対処しているよう ですが、なお職員の技能や意欲の更なる向上に努めていただきたいと思 います。
- (5) 望みの門富士見の里については、コロナ禍の中で職員1名の感染にとどめた点は職員全員の協力と配慮の賜物と言えましよう。しかし、なおもろもろの感染症にも引き続き万全の対策を取っていただきたいと思 います。また、介護職員不足が進む中で、技能実習生の着任は喜ばしいことですが、なお職員研修等を通して介護職員のスキルアップや新規職員の採用にも努めていただきたいと思 います。
- (6) 児童養護施設望みの門かずさの里につきましては、知的障害児や虐待児が増加する中で、6ユニットの編成によってかろうじて生活の充実と安定が図られている様子が伺われます。なお、里での養育と学校生活との連携をも強化するとともに、職員の高齢化が迫る中で新たな職員の採用と適正配置にも心がけていただきたく思 います。
- (7) 児童家庭支援センター・望みの門ピーターパンの家の活動につきましては、コロナ禍で直接的な面談に限られる中で、不登校や引きこもりなどの事案に苦慮された1年であったと思 います。しかし、関係機関との連携や法人内の事業所との連携によって、その活動をよく保持してきたものと評価されます。
- (8) 望みの門方舟乳児園は、「新しい社会的養育ビジョン」によって、乳児院は一時保護的役割を帯びてきていると思われますが、職員の研修参加や情報の収集によって幼児たちの保護と養育のために日々苦戦している職員たちと共に新しい展望を開いていただきたいと思 います。なお、新しい職員の確保と定着にも心がけて頂きたいと思 います。
- (9) 望みの門里親支援センターは昨年(2022年)開設された事業であります。乳児院方舟の活動とも関連しつつ、その働きと知名度を高めてきたことは喜ばしく思 います。その活動は他の機関や施設との連携を要すると思われますので、その強化に一層尽力していただきたいと思 います。

- (10) 児童心理治療施設（情緒障害児短期治療施設）望みの門木下記念学園は開設8年目を迎えクリニックも併設されたことによって、心理治療と療育との適切で安定した関係が築かれてきていると思われます。しかし、児童による暴力と破壊行動が頻発する中で職員による指導と対処も容易ではないと思われます。職員同士の意思の疎通や関係機関との連携強化を図り、また対応できる人材の確保と暫定定員の見極めとを進めていただきたいと思います。
- (11) 障害者の就労継続支援事業である望みの門新生舎は創立23周年を迎えましたが、昨年度はコロナ感染の影響を受け、9月から本格的な活動が再開された。利用者の高齢化が進む中でも、ベーカリー事業は順調ですが、他の事業収益は目標に達していません。そうした中で、新規利用者の開拓や新規事業の開発にも着手し、さらにデイサービスセンターやグレースホームとの連携も欠かせないであろう。なお、障害者（児）の相談支援事業である望みの門ベテルについては、地域のニーズに応える相談支援事業として大切な役割を果たしておりますが、なお登録者数を増やして収益増につなげていただきたいと思います。
- (12) 通所介護事業の望みの門デイサービスセンターは本館内に拠点を移して設備も充実し、利用者定員も40名に増員されましたが、昨年度はコロナ禍ということもあり、残念ながら定員を満たすには至っておりません。まずは、新規利用者の開拓と職員のスキルアップと緊密な連携に取り組んでいただきたいと思います。
- (13) 中核地域生活支援センター「君津ふくしネット」は、4市（袖ヶ浦、木更津、君津、富津）の子どもや成人の包括的な相談支援を担い、それぞれの地域に出向いて支援活動を続けているが、コロナ禍の中で特に精神面での相談が目立ってきているとのこと。まずは市町村との連携を強化して、生活困窮者の掘り起こしと支援を積極的に進めていただきたいと思います。
- (14) 富津地区地域包括支援センターは、ホームヘルプサービスや在宅サービスセンターとも連携し、地区内の高齢者支援に貢献していることが伺われます。
- (15) 共同生活援助事業（介護サービス包括型）のグレースホームについては、入所者の高齢化と共にその重度化が課題となる中で、特別養護老人ホームなどとの連携も必要になってくるであります。いずれにしても、職員の配置を整えて、適切に対処していただきたいと思います。
- (16) 訪問介護事業・日常生活支援総合事業「望みの門ホームヘルプサービス」は、コロナ禍の中でも在宅の利用者たちを良く支えてきたことは感謝であります。今後も新たなヘルパーを得て、利用者増を目指していただきたいと思います。
- (17) 居宅介護支援事業である「望みの門在宅サービスセンター」は、地域の利用者が適切な医療・介護・福祉サービスを受けるために3名の介護支援専門員によって運営されておりますが、今後もその専門的な知見を高め、他の事業所とも連携しつつ利用者の増加を目指していただきたいと思います。
- (18) 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業「望みの門ベテル」は、望みの門新生舎と連携しつつ、また外部の諸事業所とも連携を図りつつ、その相談支援事業を進めているが、従来のサービス利用状況を検討し、更なる新規登録者の獲得を目指していただきたいと思います。
- (19) 事務局（木下記念学園クリニック含む）は、有給休暇消化率が46.10%と低いので、事務の合理化を図り消化の向上を目指していただきたいと思います。